

知事コメント

令和2年8月11日(火)

- 1 本日新たに64名の新型コロナウイルス感染症の患者が確認されました。これにより沖縄県における感染者の累計は1,242名となりました。7月に入ってからの新規感染者数は1,100名となります。米軍関係新規感染者は2名確認されています。
- 2 これまで、感染者の年代は30代以下が半数以上を占めており、また症状としては、無症状者や軽症者が多いことが特徴でしたが、感染者数の増加に伴い重症者も増加しており、大きな危機感を持っております。
- 3 本日開催した本部会議においては、県の警戒レベル判断指標について国の分科会が示した指標にあわせて見直すことを決定しました。その主な見直し点は、県判断指標の「入院患者数」を国指標の「療養者数」に、「病床利用率」を「病床占有率」に、「重症病床利用率」を「重症者用病床占有率」に、それぞれ変更するものです。
- 4 今回見直しを行った結果、①重症者用病床占有率は50%で第3段階にあるものの、②療養者数は874人、③病床占有率94.5%、④直近1週間の新規感染者数625人、⑤感染経路不明な症例の割合は71.4%、⑥新規PCR検査の陽性率は7.5%と、5つの指標で第4段階に達している状況であり、医療提供体制が極めてひっ迫していることを確認しました。
- 5 詳細については、後ほど担当部局からご説明いたしますが、このような状況から、私としては医療提供体制については警戒レベルの第4段階に達していると受け止めております。
- 6 昨日は、県内医療機関の病院長会議に出席し、そのご意見をうかがう中で、危機意識をあらためて強く認識しました。各医療機関にお

いては、しっかりとした感染予防対策を行ったうえで、通常の診療も継続しつつ、新型コロナの感染者も受け入れている状況であり、現場の負担は非常に大きくなっています。重症者の増加は、医療機関にとって大きな負荷となり、県民の生命を守るという責務に支障が生じかねません。

- 7 このため県としては、医療提供体制を強化し、現在200床としている病床確保数を、県内医療機関のさらなるご協力を賜り、425床まで引き上げてまいりたいと考えております。
- 8 各県立病院に対しては、私の方から、今回の爆発的な感染患者の増加に伴い、新型コロナウイルス感染症患者に対応するため、病床及び体制を拡充して取り組むよう指示しました。県立病院が新型コロナ感染症患者に集中できるよう、県民の皆さまにおかれましては、体調管理をしっかりとしていただき、具合が悪くなった場合には、まずは「かかりつけ医」に相談するなど、民間の医療機関を優先して受診していただくようご理解とご協力をお願いします。また、他の医療機関におかれましては、救急患者の受入について、引き続き、積極的なご協力をお願いします。
- 9 さらに、宿泊療養施設については、看護協会の協力をいただき、現在の210室を明日8月12日から340室に拡充するとともに、新たな宿泊療養施設の増設に向けて検討を進めてまいります。
- 10 また、検査体制については、PCR検査等を受けることが出来るクリニック等107件と現在契約を進めており、早急に公表していく予定です。
- 11 県が進めてまいりました空港での水際対策に関しては、那覇空港におけるTACOの増強を図っているところです。この度、国の御協力を得られることとなり、8月8日から、那覇空港内で熱を感知された方は、空港内で抗原検査を実施できる体制が整いました。今後、空港における迅速な支援を行えるよう取り組んでまいります。

12 また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と経済社会活動の両立を目的とした「沖縄県感染防止対策徹底宣言ステッカー」、シーサーステッカー制度の進捗についてご報告いたします。

同制度は、8月5日にスタートし、本日で約1週間が経過しましたが現時点で約850事業所が申請しております。

事業者の皆様、ぜひ本制度を活用して、新型コロナウイルスの万全な感染防止と事業の継続に一丸となって取り組んでいきましょう。

13 緊急事態宣言を発出し、今週末で2週間となります。この間、集中的に各種対策の強化に取り組んでいるところですが、現時点ではまだ多くの感染者が発生しています。県としましては、県全体としての警戒レベル及び緊急事態宣言の延長の必要性等についても早急にとりまとめたいと考えております。あわせて、医療提供体制の確保と感染拡大防止対策の強化に引き続きスピード感を持って取り組んでまいります。

14 県民の皆さま、事業者の皆さまにおかれましても、油断することがないように、引き続き感染防止対策の徹底をお願い致します。